



# 栃木県ケアラー実態調査

## 概要版

令和5(2023)年11月  
栃木県



# 1. 調査概要

## ① 調査目的

本調査は、本県のケアラー本人のおかれている状況を把握するとともに、相談支援機関等における対応状況等を把握し、ケアラーへの支援策を検討するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

## ② 調査期間

令和5(2023)年6月及び7月

## ③ 調査対象者

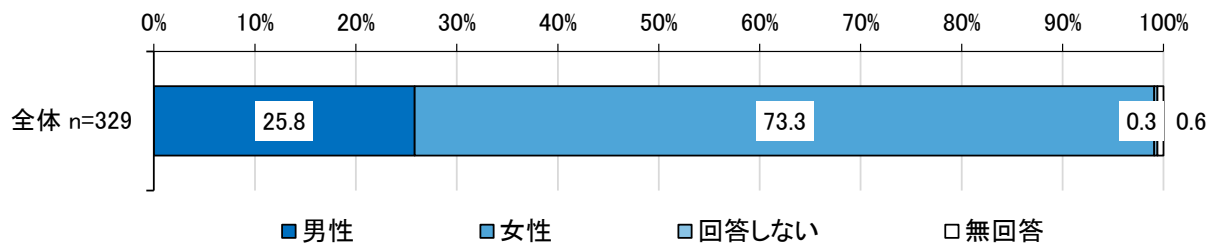
| 調査区分                         | 配布件数  | 有効回答数 | 回収率    |
|------------------------------|-------|-------|--------|
| ア ケアラー本人                     | 1,219 | 515   | 42.2%  |
| (ア)高齢者のお世話をしているケアラー          | 505   | 329   | 65.1%  |
| (イ)障害者のお世話をしているケアラー          | 714   | 186   | 26.1%  |
| イ 相談支援機関等                    | 518   | 319   | 61.6%  |
| (ア)地域包括支援センター                | 101   | 90    | 89.1%  |
| (イ)基幹相談支援センター<br>・障害者相談支援事業所 | 238   | 96    | 40.3%  |
| (ウ)民生委員・児童委員(単位民児協会長)        | 179   | 133   | 74.3%  |
| ウ 医療機関                       | 9     | 9     | 100.0% |

## 2. 調査結果

### (1) 高齢者のお世話をしているケアラー本人の調査結果

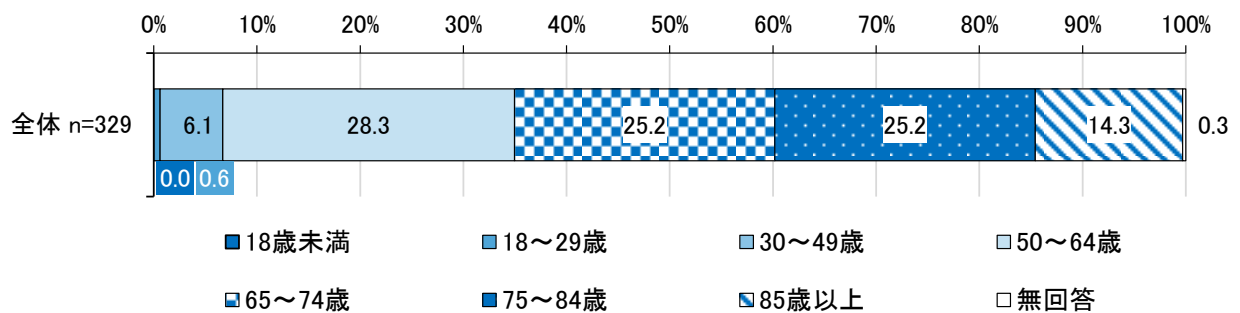
#### ① ケアラー自身の性別

本調査の回答者の性別については、「男性」が25.8%、「女性」が73.3%となっています。



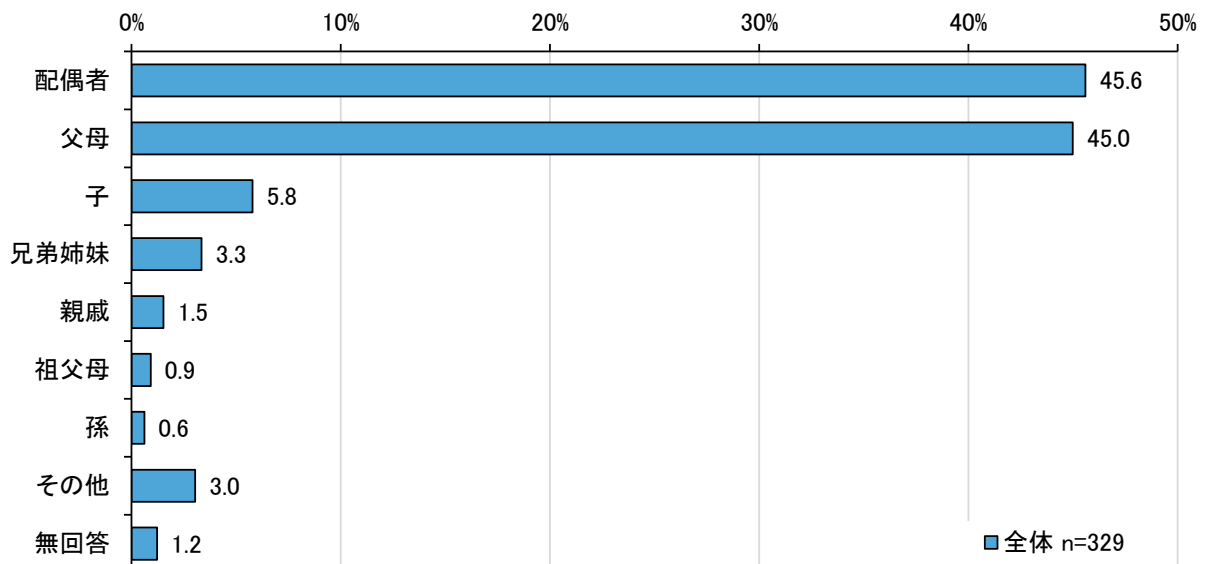
#### ② ケアラー自身の年齢(令和5年4月1日時点)

本調査の回答者の年齢については、「50～64歳」が28.3%で最も高く、次いで「65～74歳」、「75～84歳」がともに25.2%、「85歳以上」が14.3%となっています。



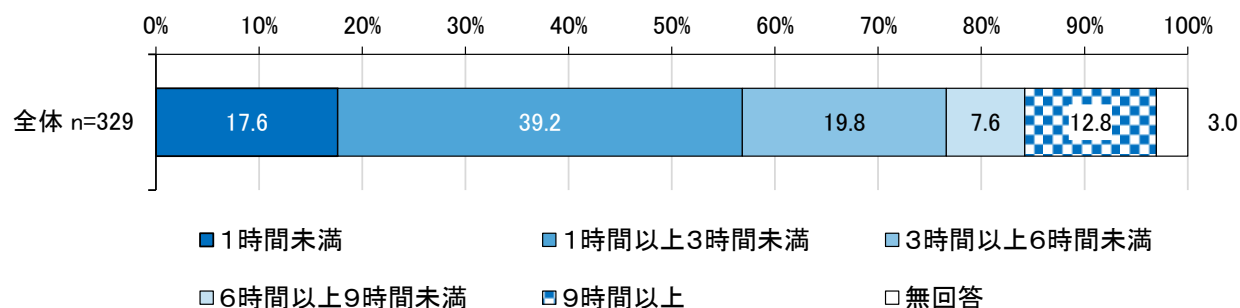
#### ③ お世話が必要な人との関係(複数回答)

お世話が必要な人との関係については、「配偶者」が45.6%で最も高く、次いで「父母」が45.0%、「子」が5.8%となっています。



#### ④1日あたりのお世話をしている時間

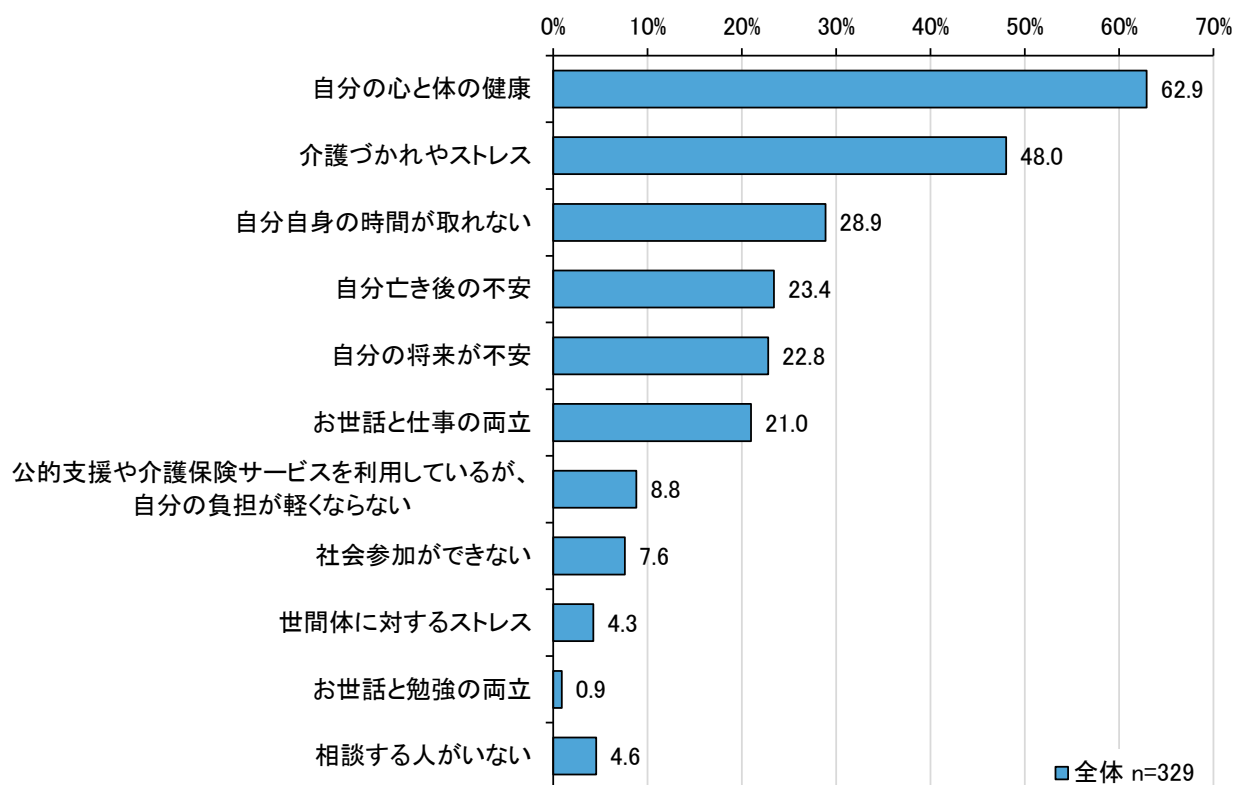
1日あたりのお世話をしている時間については、「1時間以上3時間未満」が 39.2%で最も高く、次いで「3時間以上6時間未満」が 19.8%、「1時間未満」が 17.6%となっています。



#### ⑤お世話をする上で困っていることや悩んでいること(複数回答)

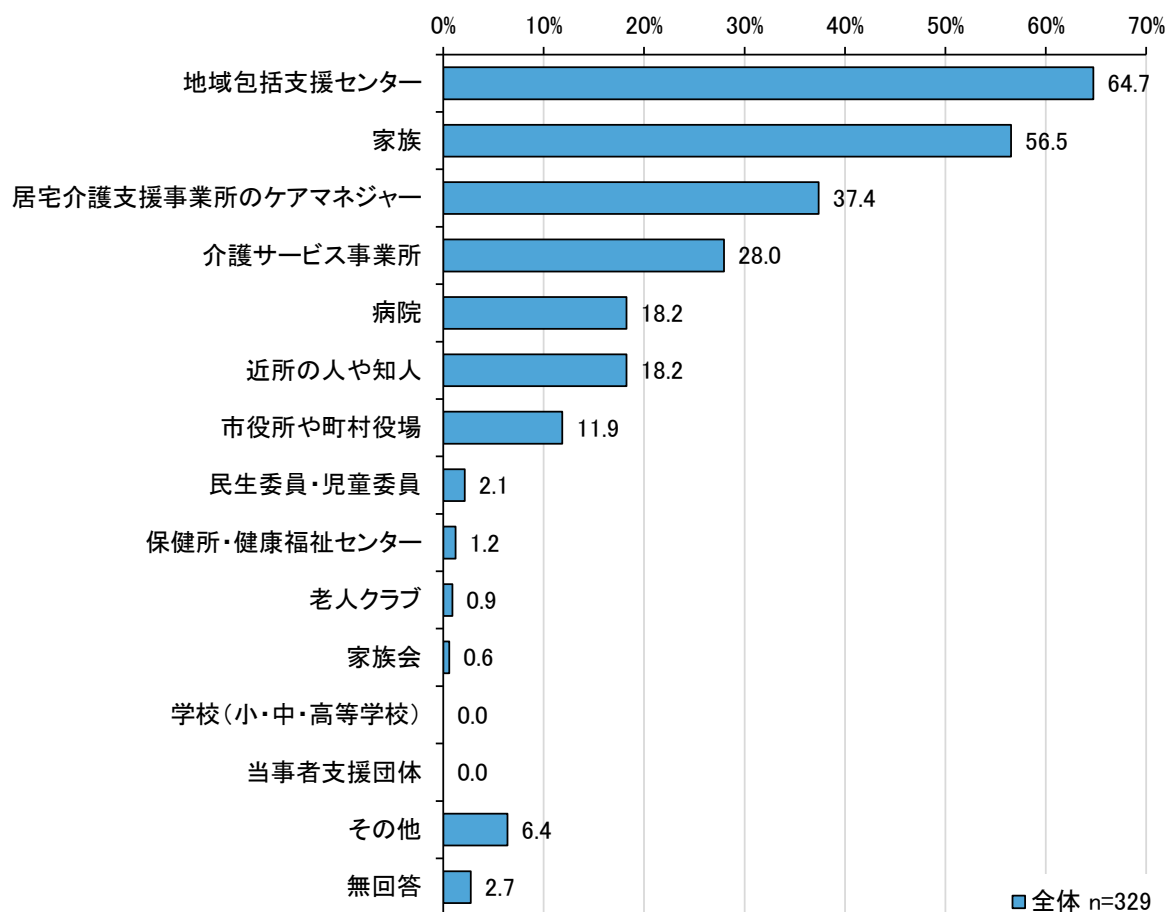
##### 【A ケアラー自身のこと】

ケアラー自身のことについては、「自分の心と体の健康」が 62.9%で最も高く、次いで「介護づかれやストレス」が 48.0%、「自分自身の時間が取れない」が 28.9%となっています。



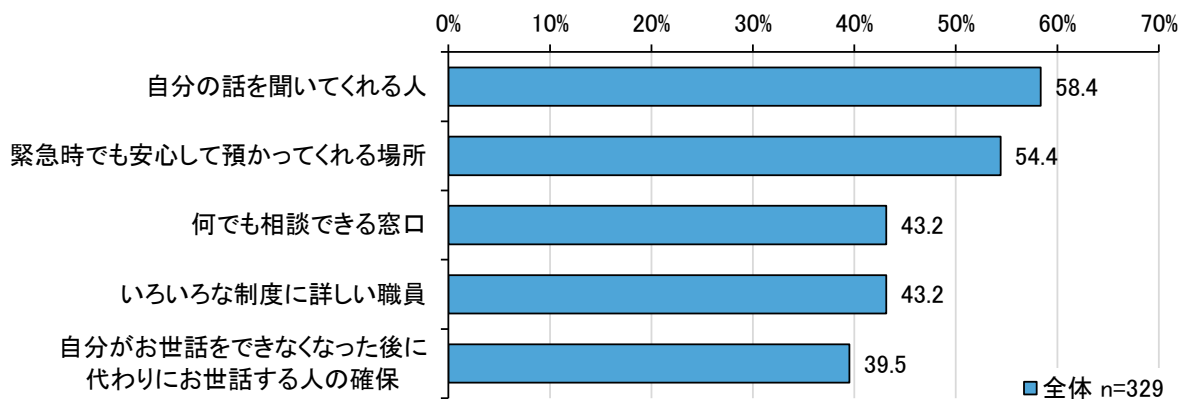
## ⑥ケアラー自身が頼りにしている相談先や窓口(複数回答)

ケアラー自身が頼りにしている相談先や窓口については、「地域包括支援センター」が64.7%で最も高く、次いで「家族」が56.5%、「居宅介護支援事業所のケアマネジャー」が37.4%となっています。



## ⑦ケアラー自身を支えるために必要だと思う支援(上位5項目)

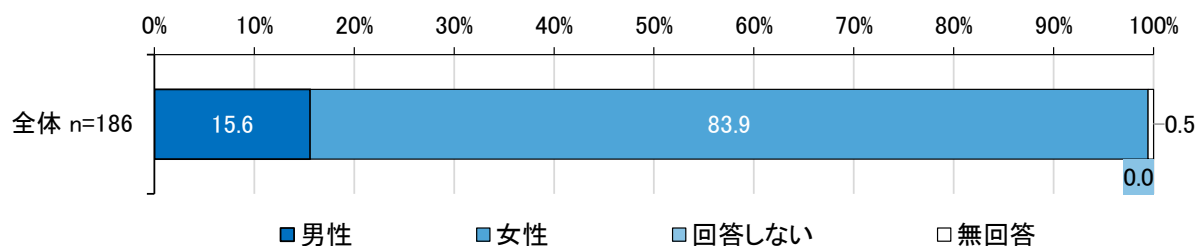
「自分の話を聞いてくれる人」が最も高く、次いで「緊急時でも安心して預かってくれる場所」、「何でも相談できる窓口」、「いろいろな制度に詳しい職員」、「自分がお世話をできなくなった後に代わりにお世話する人の確保」となっています。



## (2) 障害者のお世話をしているケアラー本人の調査結果

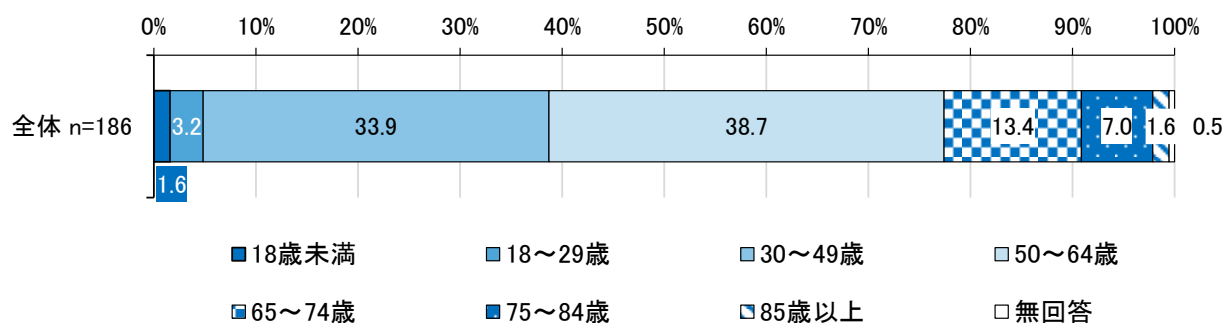
### ① ケアラー自身の性別

本調査の回答者の性別については、「男性」が 15.6%、「女性」が 83.9%となっています。



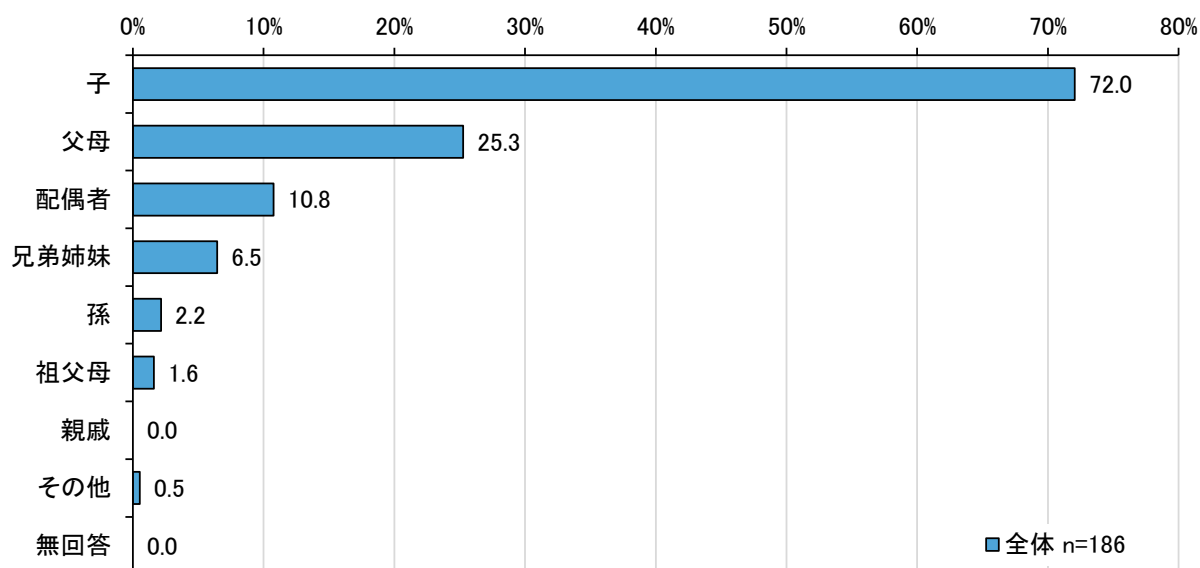
### ② ケアラー自身の年齢(令和5年4月1日時点)

本調査の回答者の年齢については、「50～64歳」が 38.7%で最も高く、次いで「30～49歳」が 33.9%、「65～74歳」が 13.4%となっています。



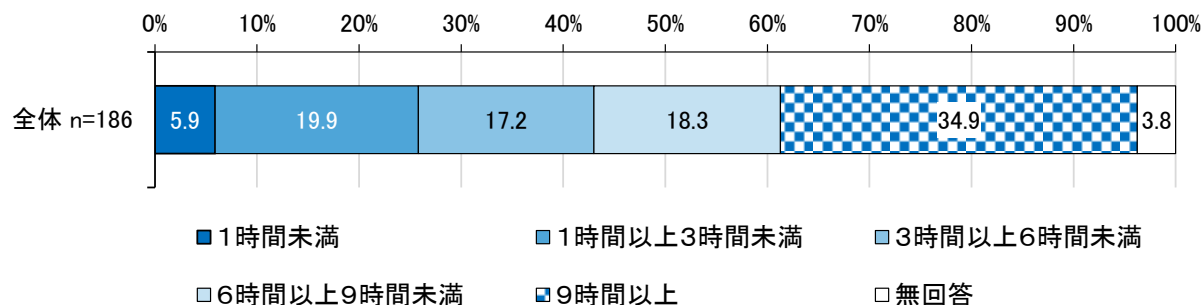
### ③ お世話が必要な人との関係(複数回答)

お世話が必要な人との関係については、「子」が 72.0%で最も高く、次いで「父母」が 25.3%、「配偶者」が 10.8%となっています。



#### ④1日あたりのお世話をしている時間

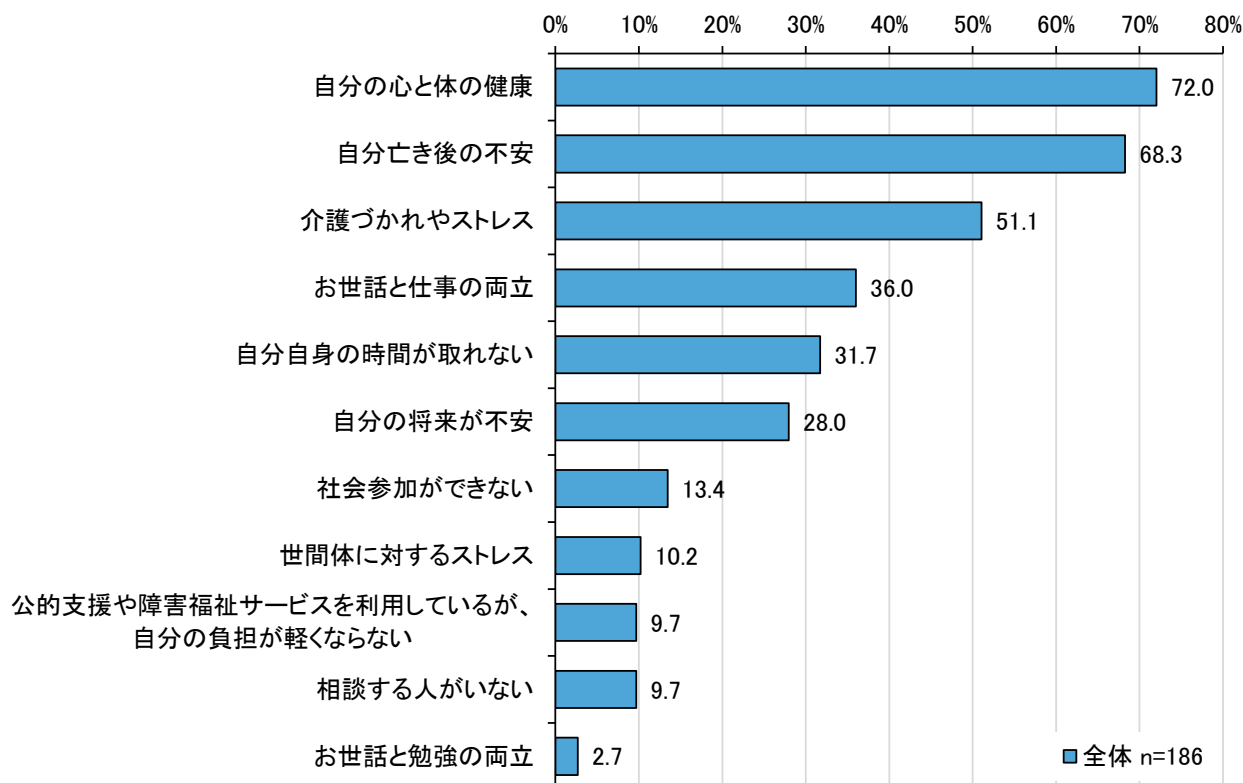
1日あたりのお世話をしている時間については、「9時間以上」が34.9%で最も高く、次いで「1時間以上3時間未満」が19.9%、「6時間以上9時間未満」が18.3%となっています。



#### ⑤お世話をする上で困っていることや悩んでいること(複数回答)

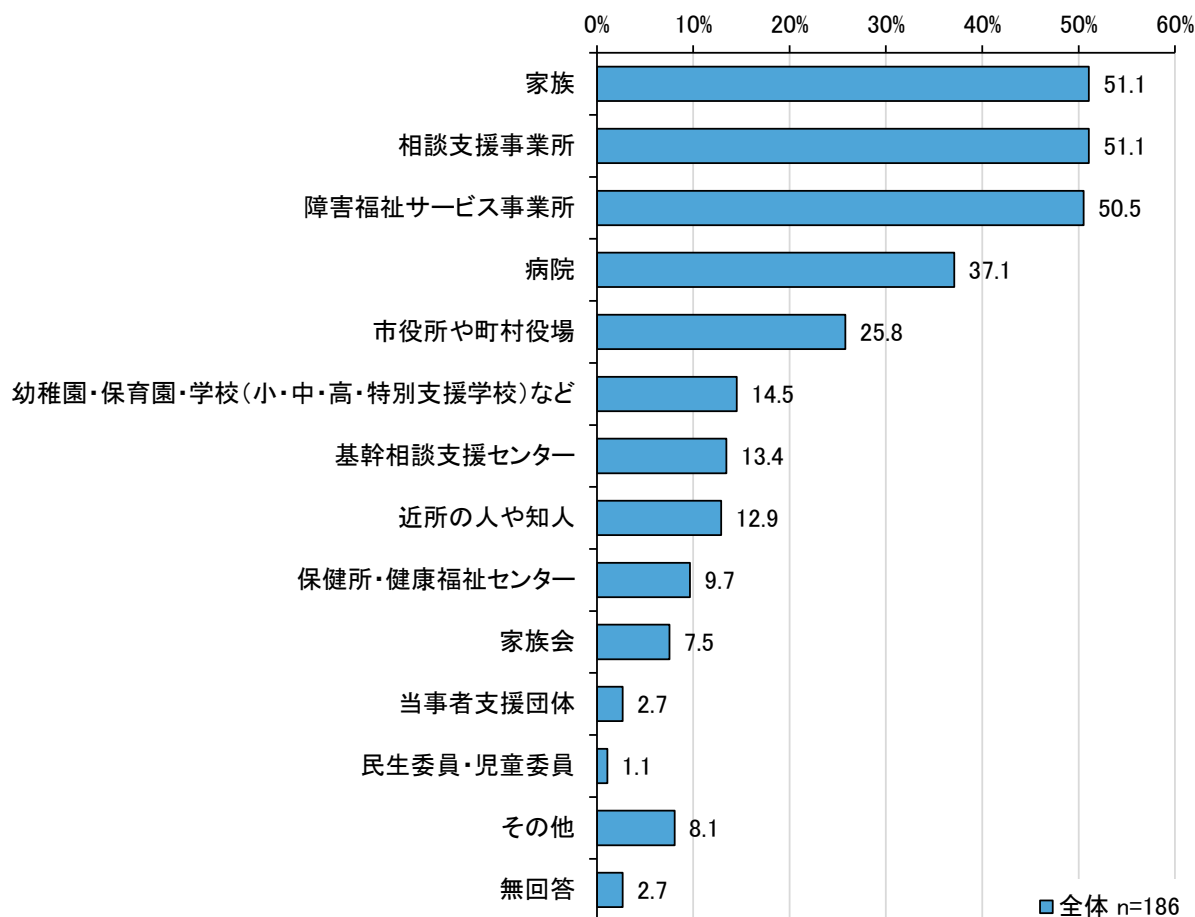
##### 【A ケアラー自身のこと】

ケアラー自身のことについては、「自分の心と体の健康」が72.0%で最も高く、次いで「自分亡き後の不安」が68.3%、「介護づかれやストレス」が51.1%となっています。



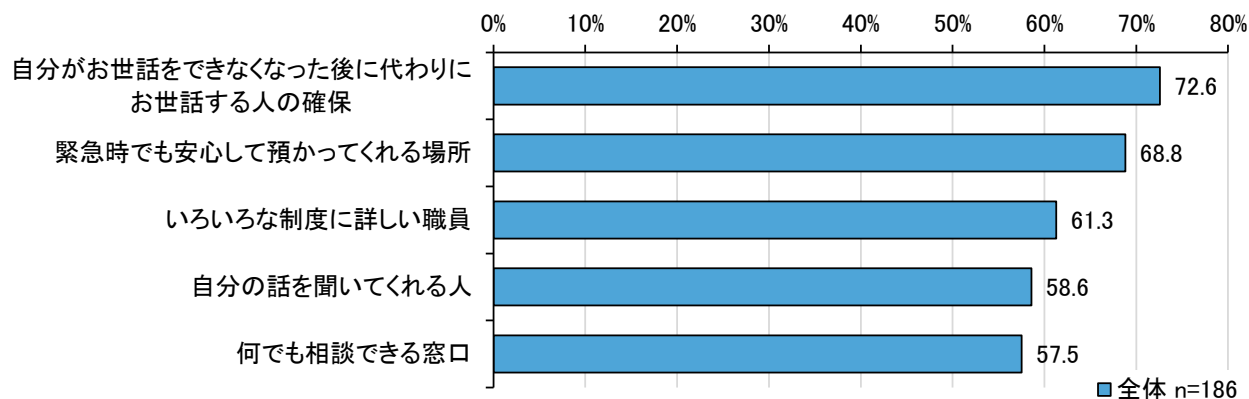
## ⑥ケアラー自身が頼りにしている相談先や窓口(複数回答)

ケアラー自身が頼りにしている相談先や窓口については、「家族」、「相談支援事業所」がともに51.1%で最も高く、次いで「障害福祉サービス事業所」が50.5%、「病院」が37.1%となっています。



## ⑦ケアラー自身を支えるために必要だと思う支援(上位5項目)

「自分がお世話をできなくなった後に代わりにお世話する人の確保」が最も高く、次いで「緊急時でも安心して預かってくれる場所」、「いろいろな制度に詳しい職員」、「自分の話を聞いてくれる人」、「何でも相談できる窓口」となっています。

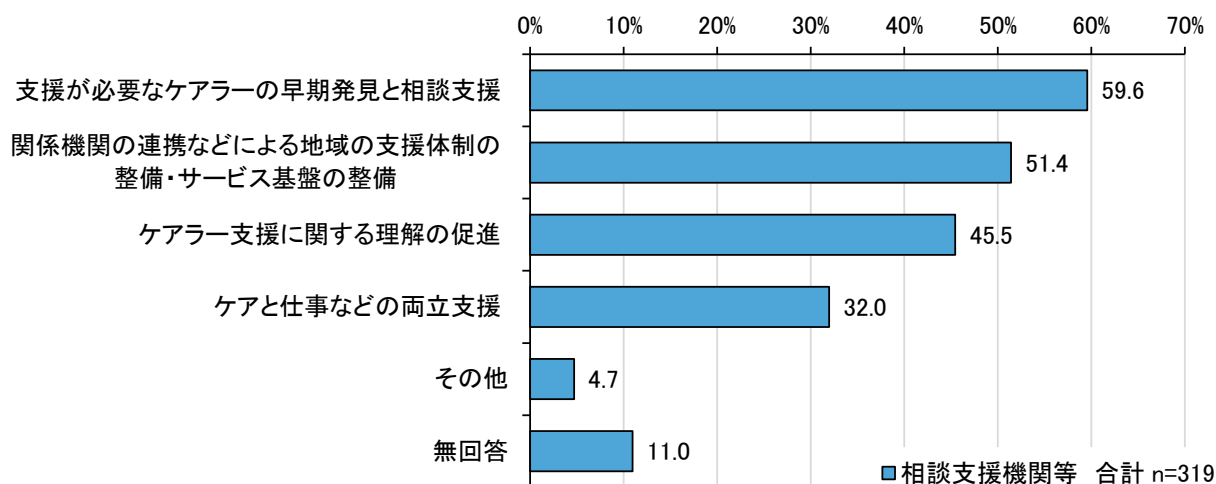




### (3) 相談支援機関等

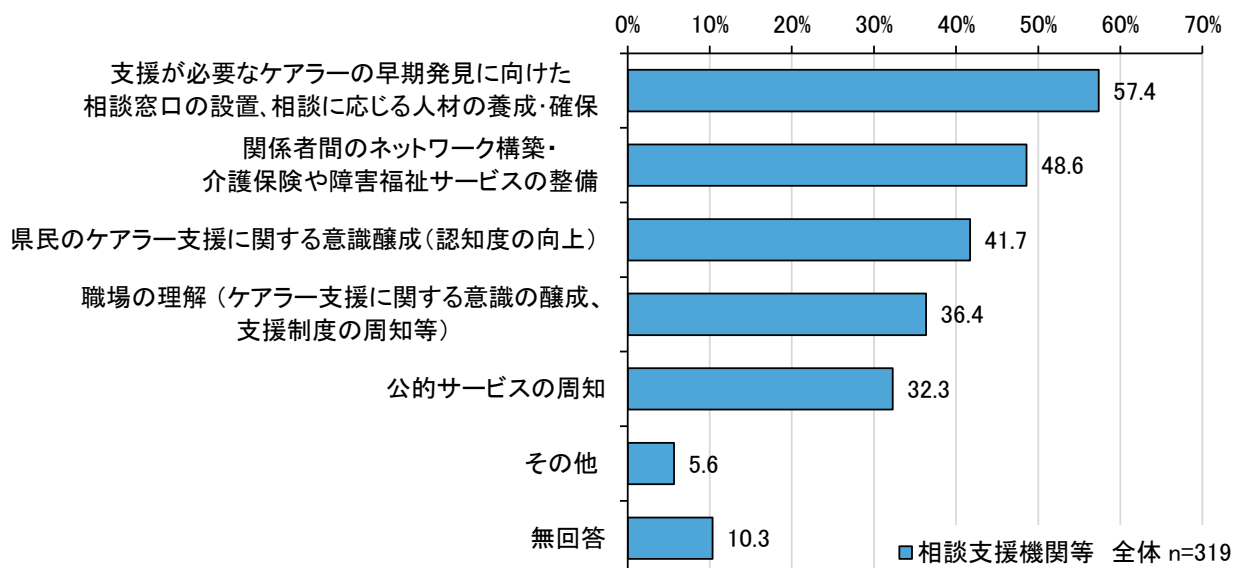
#### ①直接的な支援以外で必要だと思う支援(複数回答)

「支援が必要なケアラーの早期発見と相談支援」が 59.6%で最も高く、次いで、「関係機関の連携などによる地域の支援体制の整備・サービス基盤の整備」が 51.4%、「ケアラー支援に関する理解の促進」が 45.5%となっています。



#### ②支援を実現するために県や市町の取り組むべきこと(複数回答)

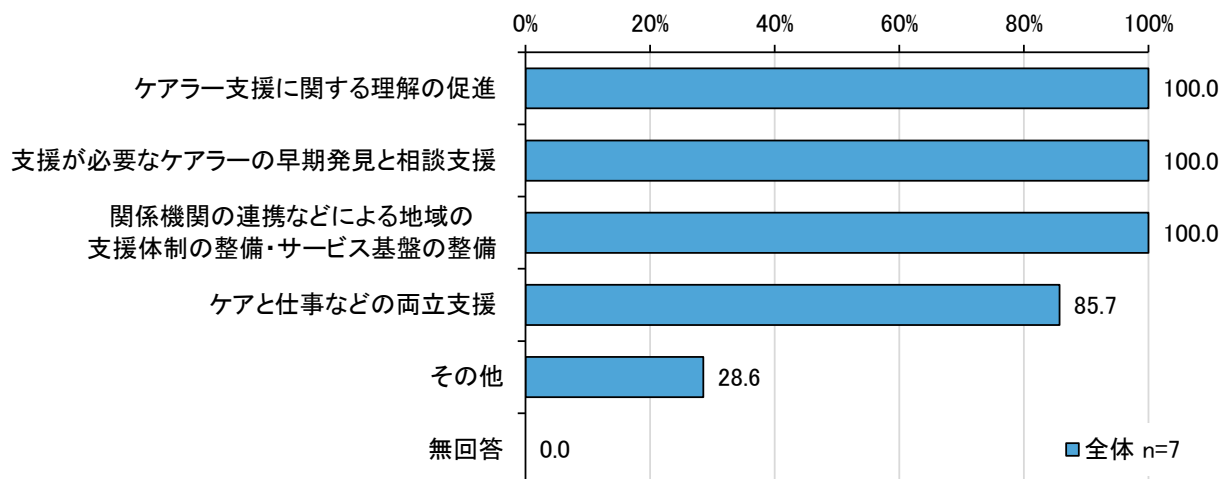
「支援が必要なケアラーの早期発見に向けた相談窓口の設置、相談に応じる人材の養成・確保」が 57.4%と最も高く、次いで、「関係者間のネットワーク構築・介護保険や障害福祉サービスの整備」が 48.6%、「県民のケアラー支援に関する意識醸成(認知度の向上)」が 41.7%となっています。



## (4) 医療機関

### ① ケアラーなどから相談を受けたことがある、と回答した医療機関において、直接的な支援以外で、必要と考える事項(複数回答)

「ケアラー支援に関する理解の促進」、「支援が必要なケアラーの早期発見と相談支援」、「関係機関の連携などによる地域の支援体制の整備・サービス基盤の整備」を多くの医療機関が選択しています。



### ② 支援に繋がりにくい家庭を支援に結びつけるために、地域や社会において、必要と考えること(複数回答)

「ケアラー支援に対する社会的認知度の向上」、「関係機関(行政や地域包括支援センター等)と連携した支援ニーズの把握」、「支援関係者のネットワーク構築」「本人や家族に対し、支援が必要なことを理解してもらう」がともに 88.9%で最も高くなっています。

